

協議第3号

消防署所の位置について

次の調整結果について協議を求める。

平成23年9月22日提出

神奈川県西部消防広域化協議会
会長 加藤 憲一

調整結果	1 広域化時の消防署所の位置は、現状の位置とする。
------	---------------------------

(調整理由)

1 消防署所の位置について

- ・消防署所の再配置には一定の期間及び経費が必要となるほか、住民の理解を得ることが重要であることから、広域化時は、消防署所の位置は現状のとおりとする。
- ・広域化に伴い、消防力が重複する地域が発生する一方で、消防力の低い地域が存在するなど不均衡が生じることから、将来的には、行政境を挟んで近い距離に設置されている消防署所の配置を見直し、消防力の低い地域に再配置するほか、受持ち区域の適正化等により、消防力をバランスよく計画的に配置していく。

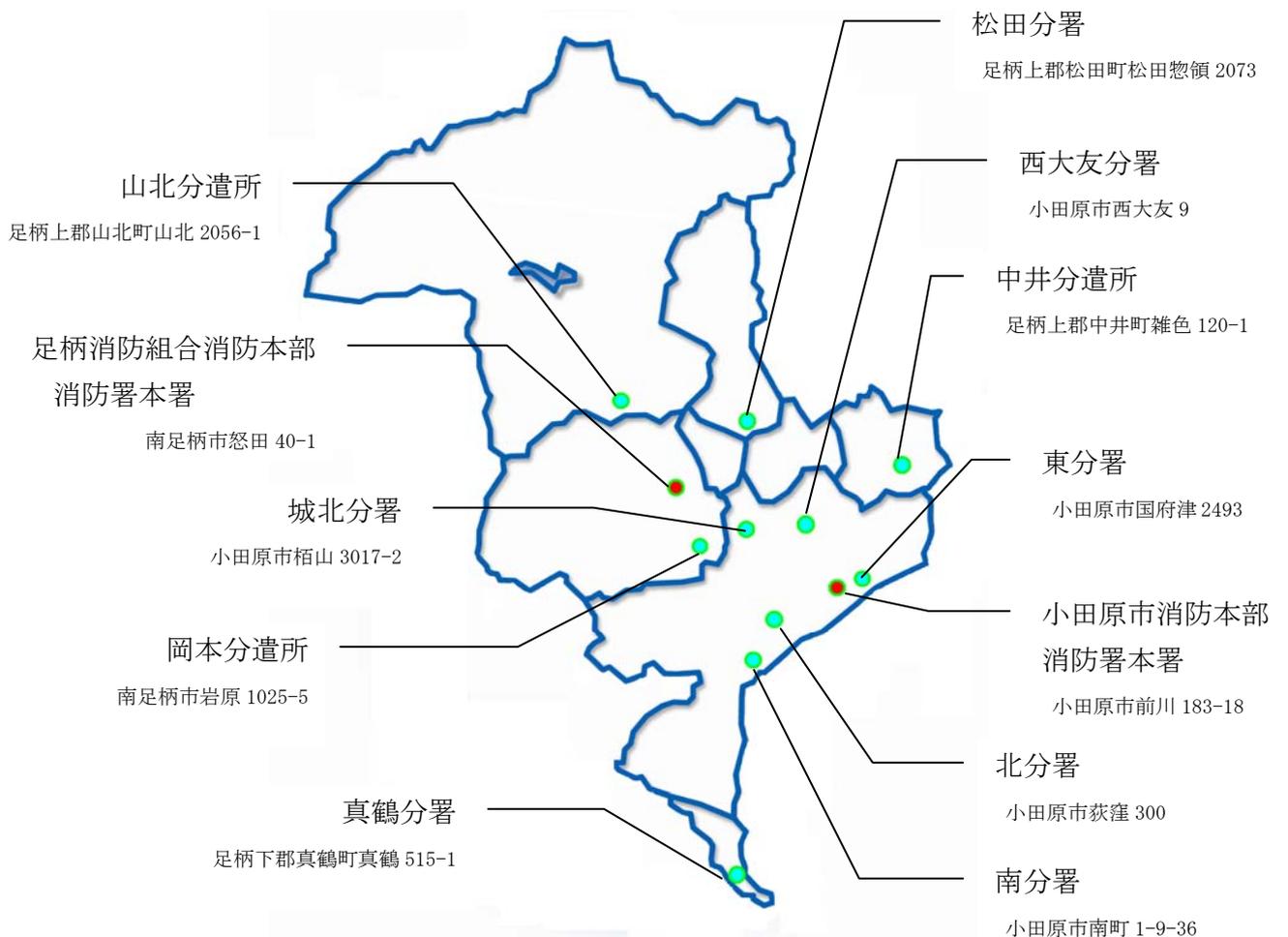
(協議第3号 消防署所の位置について) 関係資料

消防署所の状況

平成23年4月1日現在

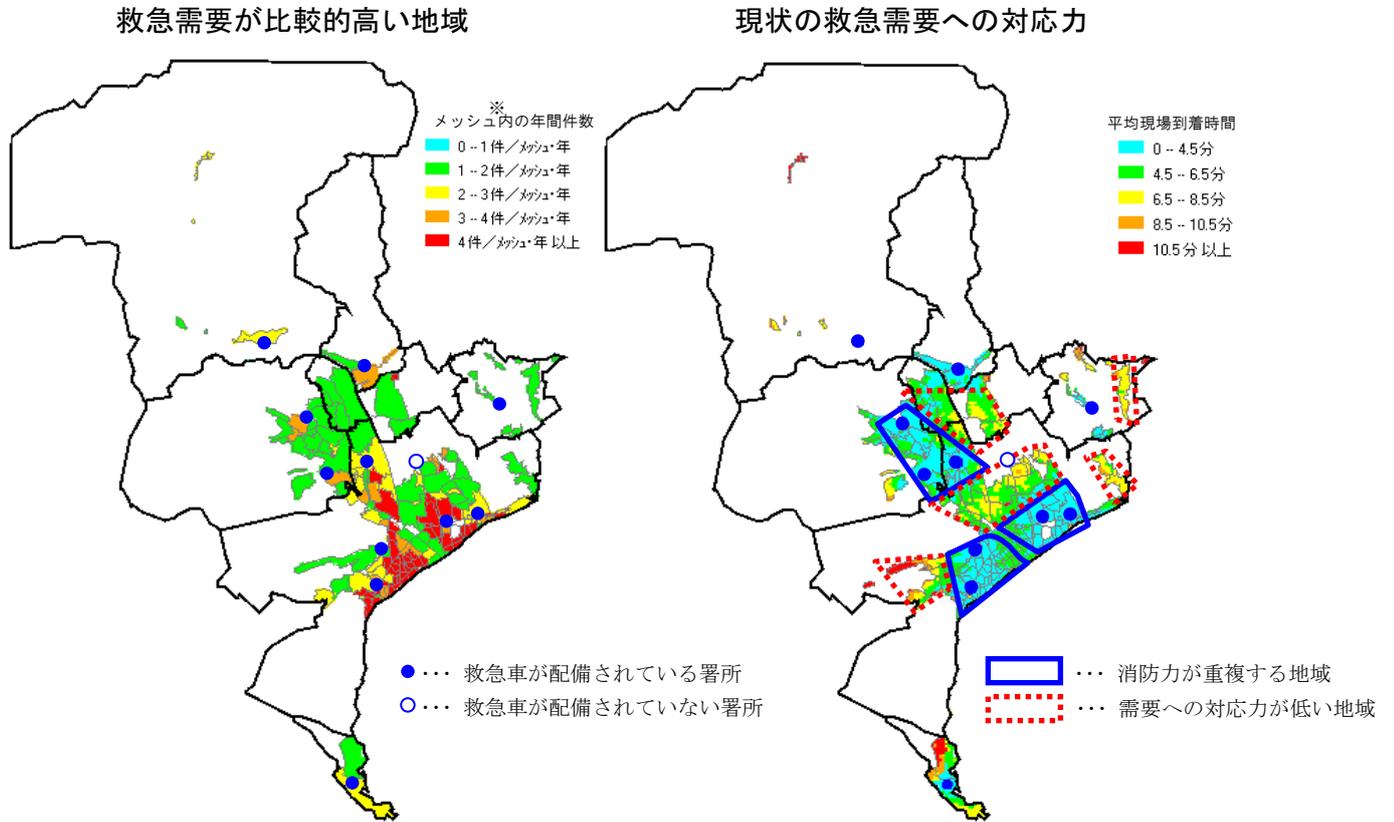
項目		竣工日	築年数	構造	延面積(m ²)	敷地面積(m ²)	耐震(改修)
小田原市	消防本部・本署	H6.6	17	RC造	3,931	3,779	耐震構造
	南分署	H18.9	5	RC造	1,127	886	耐震構造
	北分署	S51.6	35	SRC造	169	-	未改修
	東分署	S31.6	55	木造	191	707	未改修
	城北分署	S63.3	23	RC造	795	1,365	改修済
	西大友分署	S38.3	48	木造	132	665	未改修
足柄消防組合	消防本部・本署	S47.2	39	RC造	1,313	3,719	改修済
	松田分署	S47.3	39	RC造	882	895	改修済
	山北分遣所	S50.3	36	RC造	307	655	耐震診断結果・可
	中井分遣所	H23.2	1	S造	288	1,311	耐震構造
	岡本分遣所	S53.2	33	RC造	525	1,130	未改修
湯河原町	真鶴分署	S58.3	28	S造	307	237	耐震構造

消防署所の位置関係【広域化前】



現状の消防力分布図【救急需要への対応力】

- ・ 災害需要への対応力が比較的明確である「救急需要」を例示
- ・ 救急需要が比較的高い地域に対して、救急車の平均現場到着時間（カバー率）を見ると対応力に不均衡が生じていることが分かる



※メッシュ=およそ1km四方を8等分したもの（東西約141m、南北約116m）

*（財）消防科学総合センターによる「消防力適正配置調査」を基に作成